

VI 東京都小児がん診療連携ネットワーク について

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 湯坐 有希

1. 小児がん拠点病院について

- ・平成 24 (2012) 年 6 月に閣議決定された改訂「がん対策推進基本計画」において、初めて小児がんが重要課題の一つとして掲げられ、その中で「小児がん患者と家族が安心して適切な医療や支援を受けられる環境を整備することを目指し、5 年以内に拠点病院を整備するとともに、全国の中核的な機関の整備を開始することが目標」と定められた。
- ・その結果、全国に 15 の小児がん拠点病院 (平成 25 (2013) 年 2 月指定)、2 施設の中央機関 (平成 26 (2014) 年 2 月指定) が指定された。

2. 東京都小児がん診療連携ネットワークについて

- ・東京都内の医療機関では、近隣県からの流入患者を合わせると実に国内の小児がん患者の 10%以上を受け入れている。そのため、東京都は小児がん患者に対し速やかに適切な医療を提供する目的で、「東京都小児がん診療連携ネットワーク」を構築し、ネットワーク参画医療機関の専門性を生かした診療連携体制の構築を目指すことにした。(55 ページ図参照)
- ・平成 25 (2013) 年 9 月に、都指定の東京都小児がん診療病院、都内小児がん拠点病院、東京都医師会、がんの子どもを守る会により、東京都小児がん診療連携協議会を設立した。
- ・平成 26 (2014) 年 3 月から、診療連携ネットワーク参加施設の小児がん診療実績、診療環境についての情報公開を行っている。

東京都がんポータルサイト：

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryu/iryu_hoken/gan_portal/research/taisaku/shoni_taisaku/network/index.html

- ・56～62 ページに、東京都小児がん診療連携ネットワーク参画施設の情報公開ページの概略を掲載する。

Ⅶ 小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報

小児がん拠点病院

国立研究開発法人国立成育医療研究センター

所在地	東京都世田谷区大蔵2-10-1	最寄駅	小田急線 成城学園前駅、 祖師ヶ谷大蔵駅
相談窓口	医療連携・患者支援センター 医療連携室		
電話	03-3416-0181 (代表)	FAX	03-5494-7682
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分		

施設の特徴

小児がんセンターは、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。小児がん拠点病院として、地域の小児がん診療を担う医療機関と連携し、小児がん患者及びその家族が、適正な医療と支援を受けることができるよう、全面的にサポートします。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

血液腫瘍科：松本公一・富澤大輔、脳神経腫瘍科：寺島慶太、外科：金森豊
脳神経外科：荻原英樹、眼科：東範行

東京都立小児総合医療センター

所在地	東京都府中市武蔵台2-8-29	最寄駅	JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅
相談窓口	医療連携室、ER(救急外来)		
電話	医療連携室 042-312-8116 (直通) ER 042-300-5111 (代表)	FAX	医療連携室 042-312-8146
対応可能時間	医療連携室 (月～金 9時00分～17時00分)、ER (夜間・休日)		

施設の特徴

血液腫瘍に対する造血細胞移植など高度専門医療、集学的治療が必要な固形腫瘍・脳腫瘍に対応しております。561床を有する東京都の小児医療の拠点として、充実した小児集中治療部門を擁しており、全身集中管理や救急対応が必要な重症例への対応も可能です。心理士、ソーシャルワーカー、看護師だけでなく児童精神科医も含めたチームが長期治療中に生じる心理社会的な問題、成長発達支援やごきょうだいへの対応、退院後の生活など様々な相談に対応します。また、隣接する多摩総合医療センター（成人の地域がん連携拠点病院）との移行期医療連携や長期フォローアップのモデル体制を整備してまいります。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

血液・腫瘍科：金子隆・湯坐有希、外科：小森広嗣、脳神経外科：井原哲、泌尿器科：佐藤裕之

東京都小児がん診療病院

東京慈恵会医科大学附属病院

所在地	東京都港区西新橋3-19-18	最寄駅	都営三田線 御成門駅 東京メトロ日比谷線 神谷町駅
相談窓口	がん相談支援室		
電話	03-5400-1232 (直通)	FAX	
対応可能時間	月～土 9時00分～17時30分		

施設の特徴

患者さんの病気に合わせて医師、看護師、保育士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどからなる小児腫瘍チームを組み、それぞれの垣根を越えて治療にあたっています。病棟では長期の治療を受けながら保育士や院内学級の先生から教育を受けられます。小児がんのより良い治療法の開発を目指して、日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) をはじめ、多くの臨床試験に参加しています。特に小児固形腫瘍の治療は一人ひとり異なるため、小児科医、外科系医師、放射線治療医が連携して最適な治療計画を立てています。さらに、妊娠中からの胎児のフォローを可能にする産科との連携、治療中に生じた全身状態悪化に対応する小児専門集中治療ユニット (PICU) や緩和医療チームの存在、地元医療機関と連携した在宅治療、治療終了後の長期フォローと成人診療科との連携、遺伝性腫瘍に対しては臨床遺伝専門医を有する小児腫瘍医の相談体制などの“ライフサイクルに合わせた医療の提供”を心がけています。

主な診療科及び連携担当医 (連絡先)

小児科：秋山政晴、小児外科：吉澤穰治、小児脳神経外科：野中雄一郎・柳澤隆昭

順天堂大学医学部附属順天堂医院

所在地	東京都文京区本郷3-1-3	最寄駅	JR・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
相談窓口	順天堂大学小児科 (血液・腫瘍グループ)		
電話	03-3813-3111 (大代表)	FAX	小児科医局 03-5800-1580
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分、第2を除く土曜日 9時00分～12時00分		

施設の特徴

当院では小児血液悪性疾患のみならず、神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、その他の希少疾患も含む小児固形腫瘍、髄芽腫、上衣腫、胚細胞腫などの小児脳腫瘍の患者さんが非常に多く、常に積極的な高度集学的治療を提供しています。治療チームは小児腫瘍医、児童精神科医、小児外科医、脳神経外科医だけでなく、看護師、チャイルドライフスペシャリスト (CLS)、臨床心理士、病棟保育士、音楽療法士など多職種から成り、お子さんやご家族を含めたトータルケアに力を注いでおり、治療終了後は長期フォローアップ外来も充実しています。また、小児の消化器、心臓、腎臓、神経、感染症、児童精神・発達などの専門家も充実していることから、合併症や副作用に対する専門的な治療も提供しています。お茶の水という立地は、各方面からのアクセスに大変便利です。

主な診療科及び連携担当医 (連絡先)

小児科：藤村純也、小児外科：古賀寛之、脳神経外科：近藤聡英

Ⅶ 東京都小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報

東京都小児がん診療病院

東京医科歯科大学医学部附属病院

所在地	東京都文京区湯島1-5-45	最寄駅	JR・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
相談窓口	がん相談支援センター(腫瘍センター内)		
電話	03-5803-4008	FAX	03-5803-0390
対応可能時間	月～金 9時00分～16時30分		

施設の特徴

主として血液悪性腫瘍、非悪性血液疾患、および原発性免疫不全症（PID）の診断および治療を、専門医および指導医資格を持ったシニアスタッフによる指導体制の下、チーム医療を通じた、エビデンスに基づく質の高い医療を実践している。造血幹細胞移植においては、HLA半合致血縁ドナーやNK細胞抑制性レセプター（KIR）リガンド不一致ドナーからの移植、移植後晩期合併症の軽減を目指した骨髄非破壊的前処置を用いた移植法にも積極的に取り組んでいる。院内の細胞治療センターと協力して、移植後のウイルスモニタリングや、難治性ウイルス感染症や生着不全に対する養子免疫療法の開発・検討を行っている。その他、基礎研究室との連携も密接に行い、希少疾患に対する病態解析および診療体制の構築にも努めている。また、近年小児内分泌グループ等との連携により、小児がん生存者の長期フォローアップ体制の構築の充実を図っている。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：高木正稔 03-5803-5674（小児科外来）

東京大学医学部附属病院

所在地	東京都文京区本郷7-3-1	最寄駅	東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅 東京メトロ千代田線 湯島駅
相談窓口	地域医療連携部、小児科外来		
電話	03-3815-5411	FAX	03-3816-4108
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分		

施設の特徴

複数の科が連携して専門機能を集結し、小児がんのお子さんに対するきめ細やかな高度医療を行っています。当院の特徴としては、患者さんとそのご家族が安心して治療に専念できるように、化学療法、外科的治療、放射線療法から骨髄/臍帯血移植といった最新の移植医療まで、様々なニーズにあった診療を横断的に自施設内で滞りなく完結できることです。さらに、当院は東京都指定のこども救命センターの活動にも力を入れていることから、がん救急の受け入れも積極的に行っています。また、より質の高い医療を提供するために、多施設共同の臨床研究に積極的に参加することに加えて、がんゲノム研究を精力的に展開し、分子病態に立脚した合理的かつ有効性の高い新規治療法の開発を行っています。支援体制としては、院内学級、家族の宿泊施設を完備し、さらには小児専門看護師等と連携し、フォローアップ体制の充足化をはかっています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：滝田順子、小児外科：杉山正彦

東京都小児がん診療病院

日本医科大学付属病院

所在地	東京都文京区千駄木1-1-5	最寄駅	東京メトロ南北線 東大前駅 東京メトロ千代田線 千駄木駅
相談窓口	小児科外来		
電話	03-3822-2131	FAX	03-5685-1792
対応可能時間	月～金 8時30分～16時30分、土 8時30分～14時00分		

施設の特徴

小児がんの診断、治療そして治療終了後も長期にわたりフォローアップを行っています。固形腫瘍の診断においては、付属施設としてPETセンターがあり、的確な診断が可能です。治療は造血器腫瘍においてはJPLSGの治療プロトコール、固形腫瘍においてはJNBSG、JWiTSなどの治療プロトコールに則った標準的治療を行っています。また、診療に当たっては、血液腫瘍グループの医師だけでなく循環器、神経、内分泌などを専門とする医師が必要に応じて診察、検査を行う体制になっており、様々な対応が可能です。さらに心理士も常駐しており、入院中は病棟で、外来診療時は外来での対応が可能になっています。治療終了後は長期フォローアップ外来を設置し、成人になった小児がん経験者に対してもきめ細かいフォローアップを行っています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：前田美穂、植田高弘、早川潤

聖路加国際病院

所在地	東京都中央区明石町9-1	最寄駅	東京メトロ日比谷線 築地駅 東京メトロ有楽町線 新富町駅
相談窓口	相談・支援センター がん相談支援室		
電話	03-5550-7098	FAX	03-3543-7307
対応可能時間	月～土 8時30分～17時00分		

施設の特徴

1960年代より積極的に小児がんの治療に取り組んでまいりました。元部長である西村昂三が米国留学で学んだトータルケアの考えを本邦でいち早く実践に取り入れ、前部長の細谷亮太により発展された多職種連携に基づく診療を今も重視しています。化学療法などの小児がん治療は血液専門医資格を有するスタッフが中心となって行います。小児外科医との円滑な連携のもと固形腫瘍疾患のみならず、小児がん治療中の外科的処置を要するような事態にも対応ができます。また、当院は骨髄バンクおよびさい帯血バンク認定施設であり、必要に応じてこれらの造血幹細胞移植を行うことが可能です。医師、看護師以外にも薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、心理士、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、病棟保育士、院内学級教師、チャプレン（神父）からなる多職種チームが病気のお子様のみではなく、ご両親やご兄弟などご家族のケアにあたります。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児内科：真部淳・長谷川大輔、小児外科：松藤凡・迫田晃子

Ⅶ 東京都小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報

東京都小児がん診療病院

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

所在地	東京都中央区築地5-1-1	最寄駅	都営大江戸線 築地市場駅 東京メトロ日比谷線 築地駅
相談窓口	医療連携室		
電話	03-5565-2321(直通)	FAX	03-3542-2546
対応可能時間	月～金 9時00分～16時30分		

施設の特徴

通常治療に抵抗性で治療が困難と判断されたり、再発を繰り返し治療選択に難渋している患者さんを数多く受け入れ診療している点が特徴です。臨床試験に基づく新たな治療オプション、例えば、適応外薬・未承認薬を含む治療、造血幹細胞移植やペプチドワクチンを含む治療など、数多くの治療選択肢の提供が可能であり、再発患者さんであっても、比較的体調良く長期に生存されるお子さんも稀ではありません。もちろん、最初に小児がんが疑われた段階での受診、紹介にも常時応じています。がん診療に特化した小児内科、小児外科、放射線診断科、臨床検査科、病理科との密な連携により、迅速で正確な診断が可能です。画像診断ではMRI、CT、必要に応じて数種類のPETやシンチグラフィの検査を疾患や状態ごとに使いわけながら、数日で病変の性質、広がりなどを正確に評価することができ、病理検査も院内で確実な診断が数日で可能です。また、小児病棟内に養護学校があり、高校生までが治療中の学習継続が可能であることも特徴です。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児腫瘍科：小川千登世、眼腫瘍科：鈴木茂伸、骨軟部腫瘍科：中馬広一
脳脊髄腫瘍科：成田善孝

東邦大学医療センター大森病院

所在地	東京都大田区大森西6-11-1	最寄駅	JR 京浜東北線 蒲田駅 京浜急行線 梅屋敷駅
相談窓口	地域医療支援センター		
電話	03-3762-4151	FAX	03-5763-6573
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分、土 8時30分～14時00分		

施設の特徴

現在 5 人のスタッフが血液腫瘍の外来、病棟を担当しています。入院中は抗がん剤治療や副作用により辛いこともしばしばですが、病棟スタッフや 2 名の CLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト）とともに、できる限りの肉体的精神的な苦痛を取り除き、子ども中心の医療を提供できるよう心がけています。乳児から付き添いなしの完全看護です。また学習が必要なお子さんには、養護学校（小学部・中学部）の先生に来ていただき週 3 回の訪問学級を行っています。遠方の患者さん家族の宿泊施設が施設内にあります。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：高橋浩之・小嶋靖子、小児外科：黒岩実

東京都小児がん診療病院

慶應義塾大学病院

所在地	東京都新宿区信濃町35	最寄駅	JR中央線・総武線 信濃町駅 都営大江戸線 国立競技場駅
相談窓口	がん相談支援センター		
電話	03-5363-3285	FAX	
対応可能時間	月～金、土(第2・4・5) 9時00分～17時00分(受付時間:9時00分～16時00分)		

施設の特徴

小児白血病、軟部肉腫、骨肉腫の診療で多くの実績があります。神経芽腫、肝芽腫などの小児外科系腫瘍や腎芽腫などの泌尿器科系腫瘍に対しても質の高い診療を行っています。移植技術の導入や様々な領域の外科医と連携して、通常では切除困難な固形腫瘍の外科的切除に取り組んでいます。難治性白血病や転移性腫瘍に対してあらゆるタイプの造血幹細胞移植が可能です。肝芽腫に対する肝移植も可能です。15歳未満の小児だけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、思春期・若年成人（AYA世代）の小児がん患者の治療も可能です。入院診療では、多職種の医療者が連携してひとりひとりの患者に手厚い対応を行っています。外来診療では、小児がん経験者に生じるさまざまな問題に対応可能な専門診療が整備され、成人期になっても継続的な長期フォローアップが可能です。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：嶋田博之・嶋晴子、小児外科：黒田達夫、整形外科：森岡秀夫、泌尿器科：浅沼宏、脳神経外科：三輪点

日本大学医学部附属板橋病院

所在地	東京都板橋区大谷口上町30-1	最寄駅	JR・地下鉄・私鉄 池袋駅
相談窓口	医療連携センター		
電話	0120-700-127	FAX	03-3972-0018
対応可能時間	月～金 8時30分～17時00分、土 8時30分～12時00分		

施設の特徴

小児がん治療の歴史は長く、多くの貴重な経験が蓄積され、現在治療中の患者さんに生かされています。化学療法、外科療法、放射線治療から造血幹細胞移植までシームレスな対応が可能です。移植の分野では、1) 非寛解期での最適な移植法の開発、2) 晩期障害低減のため骨髄非破壊的前処置の導入、について積極的に取り組んでいます。小児外科の分野でも、古くから小児腫瘍を専門としている数少ない施設の一つです。小児外科専門医が、手術と放射線療法を組み合わせた術中放射線療法などの局所療法のほか、より低侵襲で合併症の少ない治療法の開発に取り組んでいます。当院で行われる集学的治療は全て、院内小児腫瘍ボードで決定され、専門チームによって実践されています。さらに、今年3月から家族の付き添いなしでも化学療法目的の入院をお受けすることが可能になりました。患者さんのご家族にも優しい病院になるよう心がけています。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児科：陳基明・谷ヶ崎博、外科：越永従道・杉藤公信

Ⅶ 東京都小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報

東京都小児がん診療病院

杏林大学医学部付属病院

所在地	東京都三鷹市新川6-20-2	最寄駅	JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅 京王線 仙川駅
相談窓口	がん相談支援室		
電話	0422-47-5511 (内 5158)	FAX	
対応可能時間	月～金 9時00分～17時00分、土 9時00分～11時30分		

施設の特徴

診療各科の連携を行い、大学病院として総力を挙げて小児がんの患者さんの診断、治療を行います。小児科では、主に抗がん剤による化学療法を行い、手術や放射線治療が必要な場合には、小児外科、各専門外科や放射線治療部で治療を行います。当院で行えない特殊な治療が必要な場合には、近隣の小児がん拠点病院や小児がん診療病院とも連携・協力していきます。小児科病棟では、さまざまな病気で入院している子供たちと一緒に治療を行っており、大部屋あるいは必要に応じて個室で治療を行います。長期に入院される小・中学生の患者さんについては、都立府中けやきの森学園の協力で訪問学級による教育が継続できます。杏林大学医学部付属病院では、“あたたかい、心のかよう、良質な医療を患者さんに提供する”ことを理念にしており、医師、病院スタッフともにこの理念のもと、診療にあたっております。

主な診療科及び連携担当医（連絡先）

小児内科：吉野浩・弦間友紀、小児外科：菰澤融司、脳外科：永根基雄、整形外科：森井健司

VIII 関係団体の紹介

公益社団法人 東京都医師会

所在地	東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル13階
担当窓口	地域保健課
電話	03-6256-0256 (代表)

東京都医師会は、地域医療を支える都内の46の地区医師会、12の大学医師会、そして都立病院医師会から構成されていて、都民の視点に沿った住み慣れた地域での安心安全な医療提供体制と地域包括ケアの構築を目指しています。小児がんに関しては、高い水準の医療を提供するために東京都行政と共に診療連携体制の構築に力を注いでいます。小児がんは、種類も多岐にわたり治療法もそれぞれ異なります。その初発症状は多彩であり、初期の段階での診断に苦慮することがあります。しかし病勢の進行が早いため早期の発見および治療が重要であり、専門の医療機関と速やかに連携を図る必要があります。地域でのかかりつけ医が担う役割は大きく、東京都医師会としても小児がんに関する研修会の開催や早期診断のための普及啓発活動など支援体制のさらなる構築に努めています。

平成28年6月からは、下記に移転となります。

所在地：東京都千代田区神田駿河台2-5

電話：03-3294-8821

公益財団法人 がんの子どもを守る会

所在地	東京都台東区浅草橋1-3-12
電話	03-5825-6311 (代表) 相談電話 03-5825-6312

がんの子どもを守る会は、1968年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちによって、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立されました。患児家族及び関係者に対し、小児がんに関する資料や生活面の情報提供のほか、医療・社会・心理的な相談にソーシャルワーカーが応じています。

その他、ピアサポート事業、宿泊施設の運営、小児がん経験者への奨学金の給付、調査研究事業など、小児がん医療、療養環境に関するあらゆる活動をしています。